

一般社団法人日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 49 回 リサイクル燃料貯蔵分科会 (F4SC) 議事録

1. 日時 2019 年 5 月 17 日 (金) 13:30~17:00
2. 場所 日立造船株式会社 大森ベルポートD館 15 階第一会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
(出席委員) 木倉 (主査), 浅見 (副主査), 白井 (幹事), 松本 (務), 松岡, 大岩, 入江, 影山, 澤, 亘, 山根 (11 名)
(代理出席委員) 檜崎※ (佐伯 代理), 山後 (松本 (光) 代理), 工藤 (清水 代理) (3 名)
(欠席委員) 小佐古, 水谷 (2 名)
(常時参加者) 本田, 樋口, 下条, 広瀬, 福田, 蓬田 (6 名)
(欠席常時参加者) 菱田, 堂守, 石川, 高橋, 村松 (5 名)
※: 委員候補としても出席
4. 配付資料
F4SC49-1 人事について (リサイクル燃料貯蔵分科会)
F4SC49-2 第 48 回リサイクル燃料貯蔵分科会議事録 (案)
F4SC49-3 人事について (専門部会) 【抜粋】
F4SC49-4 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 1 の作業進捗状況報告について
F4SC49-5 本標準改定に係る規制の近況について
F4SC49-6 貯蔵時の異常事象/事故における金属キャスクへの要求事項/基準の変更方針案について
F4SC49-7 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準」の修正前後比較表 (本文 (序文, 1~4 項))
F4SC49-8 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準」の修正前後比較表 (附属書 B)
F4SC49-9-1 解説 コメント対応表
F4SC49-9-2 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準」の修正前後比較表 (解説)
F4SC49-10-1 [中間報告] AESJ-SC-F002:2010 使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準: 2010 の改定について
F4SC49-10-2 日本原子力学会標準「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準: 2010」(改定案)
(「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準: 2010」)

との比較を含む)

F4SC49-11 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準」の修正前後比較表（附属書 J）

参考資料

- F4SC49-参考 1 標準委員会 専門部会運営通則他
- F4SC49-参考 2 原子力規制委員会議事録（2/6 及び 2/27 抜粋）
- F4SC49-参考 3 標準作成ガイドライン：2018
- F4SC49-参考 4 標準委員会 用語辞典：2018

5. 議事

幹事より、開始時の出席者の確認が行われ、決議に必要な委員総数の 2 / 3 以上の委員数を満足している旨の報告がなされた。

(1) 人事について（分科会）

- F4SC49-1 に基づき、委員退任の報告、委員選任の決議がなされた。

(2) 前回議事録確認

- 前回議事録（案）として F4SC49-2 の確認が行われ、コメントなく了承された。

(3) 標準委員会等の活動状況について

- 白井幹事より、F4SC49-3 に基づき、原子燃料サイクル専門部会の人事について報告がなされた。

(4) 作業会 1 の活動状況について

- 松本（務）委員より、金属キャスク標準の改定作業の進捗状況について、F4SC49-4 に基づき報告がなされた。
- 今回の分科会では、10 回目の技術的審議であり、前回までのコメント回答として「本文」、附属書 B 及び「解説」の審議、並びに専門部会に向けた中間報告資料案の審議をする。
- 改定スケジュール案の標準委員会での審議に要する期間について、専門部会または事務局に幹事より確認することとした。

(5) 金属キャスク標準の改定提案

①標準改定に係る規制の近況について

- 白井幹事より， 前回分科会での議論を踏まえ， F4SC49-5 に基づき， 使用済燃料貯蔵施設における規制の近況及び本標準改定の方針案について説明がなされた。
- 審議の結果， 提案どおり案 1（輸送基準との切り離し反映ケース）で改定を進めることが確認された。

②貯蔵時の異常事象／事故におけるキャスク要求事項の変更方針案について

- 松本（務）委員より， 前回分科会での議論及び前項①の対応方針案を踏まえ， F4SC49-6 に基づき， 貯蔵時事象に対する要求事項の整理， 現行標準からの改定方針案について説明がなされた。
- 本要求事項の変更方針案について整理がなされ， これに基づき関係する本文， 附属書， 解説について， 改定することが確認された。

③本文の改定提案について

- 檜崎作業会 1 委員より， ①項及び②項の改定方針を踏まえた本文（序文， 1～4 項）の改定案について F4SC49-7 に基づき説明がなされた。
- 審議の結果， 本日のコメントを踏まえ一部表現を見直した上で， 改定案については了承された。部会へは， 今回のコメントを踏まえ修正した版で中間報告することが確認された。
- 主な意見は以下のとおり。
 - ・ p15 3.3)内圧計算については， 文章を二つに分け， 「…貯蔵条件を満足できない場合には金属キャスクの内圧を算定する。算定に当たっては， …を仮定する」と修正するべきではないか。

④附属書Bの改定提案について

- 工藤作業会 1 委員より， ①項及び②項の改定方針を踏まえた「附属書B（参考）金属キャスクによる中間貯蔵施設」の改定案について F4SC49-8 に基づき説明がなされた。
- 審議の結果， 本日のコメントを踏まえ一部表現を見直した上で， 改定案については了承された。部会へは， 今回のコメントを踏まえ修正した版で中間報告することが確認された。
- 主な意見は以下のとおり。
 - ・ 今回の改定で始めて“オーバーパック”の用語が使用されており， 用語の定義がされていない。附属書Bについては， オーバーパックの表現を敢えて使わず， 「必要な措置を講じて搬出する」旨で記載すればよいが， 解説の方で， この標準で想定する機能を明確にしておくべき。
 - ・ p5 の修正案で「…要求事項は以下のとおり」の記載は， 「…要求事項の考え方は以下のとおりである」に修正すべき。

⑤解説の改定提案について

- 松本（務）委員より，①項及び②項の改定方針を踏まえた「解説」の改定案について F4SC49-9-1 及び F4SC49-9-2 に基づき説明がなされた。
- 審議の結果，本日のコメントを踏まえ一部表現を見直した上で，改定案については了承された。部会へは，今回のコメントを踏まえ修正した版で中間報告することが確認された。
- 主な意見は以下のとおり。
 - ・ P26 の修正案で貯蔵時の密封境界が二次蓋にあるような表現は誤解を招くため修正すべき。「密封性能」ではなく単に「密封性」でよいのでは。

⑥中間報告について

- 白井幹事より，F4SC48-9 に基づき，今回改定についての専門部会向けの中間報告案の説明がなされた。
- 標準委員会では，5か年計画との関連について資料等に落とし込むかどうか検討すること，また，中間貯蔵施設の概念図及び金属キャスクの概要図を資料に追加して，専門部会への中間報告とすることが確認された。

(6) その他

①コメントについて

- 追加のコメントがあれば，5/21（火）までに幹事に連絡すること

②附属書Jの改定提案について

- 附属書J「(参考) 金属キャスクの密封設計における使用済燃料の破損の仮定」の改定案について，前回分科会で基本的には了承されているが，前回分科会での委員コメントに対して，事前に当該委員へ修正内容の確認を得たことから，今回，F4SC49-11 が配布された。(詳細説明省略)

③標準作成ガイドライン，標準委員会用語辞典について

- 標準委員会で承認された，標準作成ガイドライン 及び 標準委員会用語辞典が参考配布された。

④次回分科会予定

- 2019年8月頃で調整 (場所：追而)

以上